

地方行政サービス改革の取組状況等(平成29年4月1日現在)

自治体コード	都道府県名	市区町村名	類似団体区分
124095	千葉県	芝山町	町村Ⅱ-0

(1)民間委託				【参考】	
	直営(※)	今後の対応方針【直営(※)を選択した団体のみ回答】	類似団体委託率	全国(市区町村分)委託率	
本庁舎の清掃			77.6%	99.6%	
本庁舎の夜間警備			77.6%	98.1%	
案内・受付			1.9%	90.3%	
電話交換			3.7%	92.9%	
公用車運転			60.7%	88.2%	
し尿収集			61.7%	97.9%	
一般ごみ収集			73.8%	96.5%	
学校給食(調理)			36.4%	65.9%	
学校給食(運搬)			57.0%	90.7%	
学校用務員事務	○	現在、全小中学校とも臨時職員にて対応	15.9%	34.3%	
水道メーター検針			88.8%	99.4%	
道路維持補修・清掃等			73.8%	96.4%	
ホームヘルパー派遣			78.5%	98.7%	
在宅配食サービス			78.5%	99.9%	
情報処理・庁内情報システム維持			98.1%	99.5%	
ホームページ作成・運営			78.5%	97.4%	
調査・集計			52.3%	95.8%	

※平成29年4月1日現在において、直営で専任職員を置いている団体

(2)指定管理者制度等の導入				【参考】				
	公の施設数	制度導入施設数	導入率	前年度以降、導入が進んでいない理由	自治体職員常駐施設数	自治体職員を常駐で配置している事に対する考え方	類似団体委託率	全国(市区町村分)委託率
体育館	2	0	0.0%	指定管理者を行うことでコスト増が見込まれる	1	1施設は総合運動場内の体育館であるため臨時職員にて対応している。	13.4%	38.6%
競技場(野球場、テニスコート等)	3	0	0.0%	指定管理者を行うことでコスト増が見込まれる	0		14.5%	46.7%
プール	1	0	0.0%	現在、通水のための開設していない。運営費用も多額になることから再開見込みが薄い。	0		17.1%	48.5%
海水浴場	0	0			0		45.5%	12.6%
宿泊休業施設(ホテル、温泉宿舎等)	0	0			0		82.1%	88.2%
休業施設(公衆浴場、海・山の家等)	0	0			0		64.0%	75.6%
キャンプ場等	0	0			0		46.2%	58.0%
産業情報提供施設	2	2	100.0%		0		67.9%	74.3%
展示場施設、見本市施設	0	0			0		58.3%	64.9%
開放型研究施設等	0	0			0		0.0%	50.0%
大規模公園	0	0			0		29.4%	41.6%
公営住宅	0	0			0		0.0%	13.3%
駐車場	0	0			0		7.7%	38.5%
大規模畜園、畜場等	0	0			0		5.6%	21.7%
図書館	0	0			0		7.7%	17.4%
博物館(歴史、科学館、歴史館、動物園等)	1	0	0.0%	文化財保護の観点から町の学芸員が常駐する必要がある。	1	町の歴史、文化財保護の観点から町学芸員が勤務し直営している。	7.9%	27.8%
公民館、市民会館	2	0	0.0%	町民と密接なコミュニケーションを図る場として職員が常駐すべき施設である。	1	使用料収入が少ないため	15.4%	21.8%
文化会館	1	0	0.0%	指定管理者を行うことでコスト増が見込まれる	1	指定管理の検討は、していない	13.0%	51.9%
合宿所、研修所等(青少年の家を含む)	0	0			0		25.0%	46.6%
特別養護老人ホーム	0	0			0		65.0%	74.7%
介護支援センター	0	0			0		17.9%	50.6%
福祉・保健センター	2	1	50.0%	福祉センターについては、町社会福祉協議会へ指定管理している。保健センターについては指定管理者を行うことでコスト増が見込まれるが調査中である。	1	保健センターについては今後も直営で運営する	23.2%	53.4%
児童クラブ、学童館等	2	0	0.0%	開設から現在、2施設とも委託にて行っている。	0		12.8%	22.6%

(3)窓口業務				【参考】	
総合窓口の設置		窓口業務の民間委託			
設置状況	設置予定無し	委託状況	委託予定無し		
BPRの手法を用いた業務分析		BPRの手法を用いた業務分析			
取組状況		業務改革効果			

(4)庶務業務の集約化				【参考】					
実施状況	委託状況	対象部局		対象業務					
実施予定無し	委託予定無し	首長部局	企業局	教育委員会	その他	給与	旅費	福利厚生	財務会計
BPRの手法を用いた業務分析		BPRの手法を用いた業務分析							
取組状況		業務改革効果							

「実施予定無し」及び「首長部局未設置団体」は「未実施の理由」を、「実施予定あり」の団体は「実施予定時期」を記述してください。
【人口が5万人未満の団体は回答不要】

(5)自治体情報システムのクラウド化				【参考】	
実施済み	実施予定	検討中	未実施	実施率(類似団体)	
タイプ	タイプ	検討状況	実施しない理由	自治体クラウド	単独クラウド
自治体クラウド	自治体クラウド	将来のクラウド化に向け、情報収集している段階である。		32.7%	22.4%
単独クラウド	単独クラウド			20.7%	34.3%

(6)公共施設等総合管理計画				【参考】	
策定済み	策定予定	策定予定時期		策定割合	
				99.1%	
策定済み		策定予定		95.0%	

(7)地方公会計の整備				【参考】	
統一的な基準による財務書類の作成状況(一般会計等財務書類)		作成完了予定年度		作成割合	
作成済み	作成予定			10.3%	
				15.0%	

※ 統一的な基準による地方公会計については、原則として平成27年度から平成29年度までの3年間で整備するように要請されているが、当該調査の基準日はその初年度の開始時点である。